

みんなの色が輝く場所

身体障害者デイサービスのことを広く知っていただくために、対談形式で、利用者の橋詰さん（写真前左）、スタッフの西瀧（生活支援員：写真前右）、吉原（介護スタッフ：写真後左）に、大村（後右）が、お話をお聞きしました。

障害者デイサービスって

三田市の事業として、当会が受託運営し、三田市内から障害のある方が日中活動の充実を目的に、市総合福祉保健センター（川除 675）へ、月曜日から金曜日まで、約 10 名の方々に来ていただいています。

生活を支えるサポート
生活を充実させるサポート

送迎、食事、入浴、排泄など
日中活動（ゲームや調理など）
外出活動（お花見・水族館など） 季節活動（クリスマス会など）



利用者（橋詰さん）～デイサービスに来られるきっかけ～

ねんかん 8年間、ずっと家^{いえ}にいて、行き場^{ゆきば}がなく、学校^{がっこう}のよう
まいにち いける ばしょ さがして へいせい ねん
に 毎日行ける場所を探していました。平成9年に、
さんだし そうごう ふくしほけん せんたー げんしょうが いしゃ
三田市総合福祉保健センター（現 障害者デイサービス
じっしばしょ たちあがったとき せんたーない
実施場所）が立ち上がった時に、センター内にデイサ
ービスができると聞き、利用をはじめました。

わたし 私にとってデイサービスは、^{あんしん}“安心できて、^{ふあん}不安がない”
そんな「第2の我が家」です。



スタッフ（西瀧・吉原）～橋詰さんのお話を聞いて～



だい わがや 「第2の我が家」…あらためて、利用者^{りようしゃ}の皆さまにとっ
てそんな居心地^{いごち}がよく、あたたかいデイサービスになれ
るよう職員^{しよくいん}一同頑張ります！



わたしたち りようしゃ みなさんひとり なに ひつよう
私たちも利用者の皆さん一人ひとりに何が必要^{なに}な
のかを考えながら、^{かんがえながら}安心して過^{あんしん}ぎして過^{すごし}ぎしていけるように、チ
ームで努力^{どりよく}していきたいと思います。

利用者(橋詰さん)

スタッフ (西瀧・吉原・大村)

利用者もスタッフも、みんなが自分の色を出し合って、
かがやける 輝ける・育っていける場所であってほしいと考えています。
私、今でも学ばせてもらっています。



職員も利用者さんといっしょに日々新たな発見や笑顔の
タネを見つけることができる職場だと思えます。
明るいスタッフばかりでアットホームな雰囲気の中、楽しく
お仕事しています。



以前も介護の現場にいましたが、障害者支援は初めてでし
た。利用者さんに一から教えていただき、あっという間に半年
が過ぎました。これからもまわりからアドバイスをいただきなが
ら頑張っていきたいと思えます。

利用者の方から、こんなコメントもいただきました

- みんなの元気な顔を見ると、私も元気でいなければと頑張れます。
- 利用を始めて7年。日常生活の介助やリハビリ、レクリエーションなどの活動など、とても有意義に過ごさせていただいています。スタッフの皆さんのチームワークもよく楽しい職場だと感じています。

少しでも身体障害者デイサービスのことを感じていただけましたでしょうか。

見学も 随時受け付けています！気持ちの暖かいうちに、ぜひ！！

当会は、業務だけでなく、学びの場や職員間の交流やワークライフバランス(育児・介護などの両立)などにも力を入れています。



季節行事・外出活動の様子

連絡先: TEL 079-559-5943

Eメール: day-s@sanda-shayo.or.jp

担当: 大村・曾谷



← 募集条件・デイサービスの様子はこちら
(デイ通信バックナンバーをご覧ください)